

原子力事業者の安全性向上に向けた取り組み

2017年2月23日

電気事業連合会

原子力開発対策委員会

委員長 豊松 秀己

-自主的安全性向上ロードマップ- <関西電力の例>

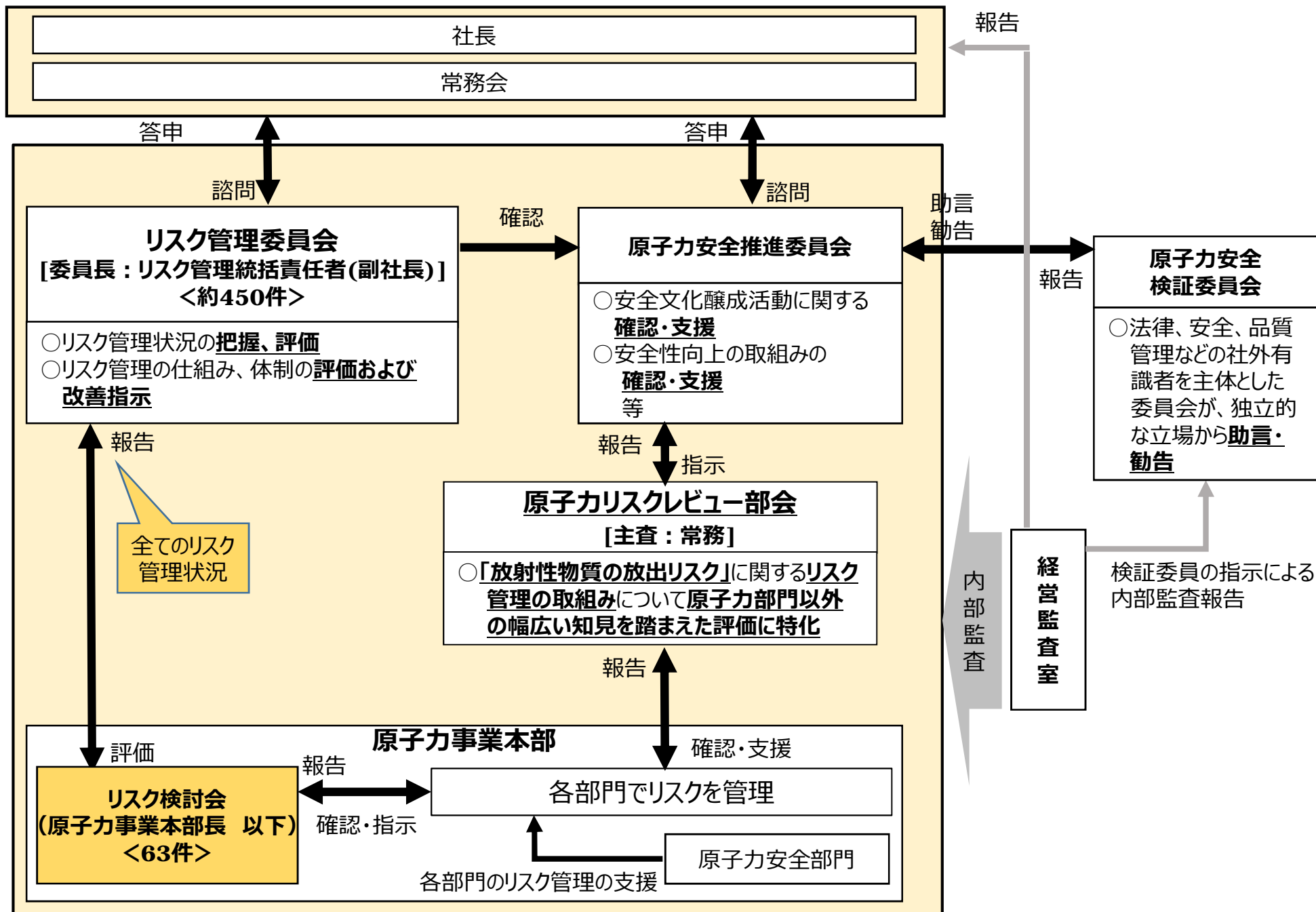
1

- 当社は、**美浜発電所3号機事故以降**、「安全を守る。それは私の使命、我が社の使命」との社長の宣言のもと、安全文化醸成活動を推進するなど、**安全最優先の事業運営を実施**。
- また、東日本大震災以降、福島第一原子力発電所事故を踏まえた反省に基づき、規制の枠組みにとどまらない**自主的かつ継続的な安全性向上の取組みについて、全社を挙げて推進**。

当社における自主的安全性向上ロードマップ(概略)

項目	～H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度～
1. 原子力安全の浸透および定着					
(1)原子力安全の理念の共有	社長宣言	社達制定	全社員への浸透		
(2)経営トップのガバナンス強化と内部コミュニケーションの充実	評価見直し	原子力部会設置	全社的な観点からの原子力安全の推進		継続的改善
(3)安全文化の発展	醸成活動の充実		継続的改善	原子力リスクワー部会の設置	継続的改善
2. 安全性向上に関する基盤整備					
(1)資源の充実	原子力安全部門の設置	体制の充実に向けた仕組み・内容の継続的改善			
	初動体制の整備	事故時対応能力向上/安全俯瞰人材の育成			
3. 安全性向上に関する活動の実施					
(1)ハード対策	安全性向上対策の推進				
(2)ソフト対策	事故時対応能力向上に向けた教育・訓練の継続的実施・改善 各地域の避難計画に基づいた協力支援の迅速かつ的確な実施に向けた継続的改善				
4. リスクマネジメントをはじめとするマネジメントシステムの確立・改善					
(1)リスクマネジメントの改善	リスクマネジメントの充実に向けた継続的な改善		リスクマネジメント体制、管理 2 3		
(2)リスク管理・評価等のツールの整備・改善	PRA停止時プラントへの活用	PRA活用の推進			
(3)その他のマネジメントシステムの確立・改善	労働安全衛生マネジメントシステムの運用継続実施				
(4)客観的評価・外部の知見等によるマネジメントシステムの改善	世界に学ぶ活動	海外知見収集の充実と継続的改善			
5. コミュニケーションの充実等					
(1)リスクコミュニケーションの充実および信頼獲得のためのその他の取組み	地域に根ざした事業運営	外部ステークホルダーとのリスクコミュニケーションの実施			

リスクマネジメントにかかる体制



自然災害、火災等による設備損壊、人身災害のリスク管理

<管理表イメージ>

No.	想定事象	主な対策	評価
⋮	⋮	⋮	⋮
24	テロ・破壊行為等による設備損壊、人身災害	防護対策・監視の強化	○
25	自然災害、火災等による設備損壊、人身災害	ハード、ソフト対策の実施	△
26	設備保全不備（点検等の遅れ、不実施）	保全計画の見直し・確実な実施	○
27	設備保全不備（高経年化対策の遅れ、不実施）	新規設備を含めた点検項目の抽出・実施	○
⋮	⋮	全63件を管理	⋮

○1月20日関西電力高浜発電所でクレーンが倒壊する事象が発生しました。

○リスク管理の観点からは、安全上重要な設備や常設設備に対する自然現象の影響は検討しておりましたが、工事用資機材に対する影響については十分に検討できていなかったことに課題があります。今後、リスクの観点から複数の関係者にて議論を行うなど組織全体のリスク感受性を高め、リスクに対する事前の対策を確実に実施することとし、今一度一層の緊張感を持って、安全確保に努めてまいります。